



# 市会だより

第126号

令和4年(2022年) 12月15日発行

京都市会ホームページ

京都市会

検索



●発行 / 京都市会 ●編集 / 京都市会事務局 ●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地 ●TEL.075(222)3697 FAX.075(222)3713 京都市印刷物 第046024号

## 9月市会の報告 後半

市長から報告された令和3年度決算について、事業を所管する局ごとの質疑(局別質疑)や、市長・副市長等との総括質疑における徹底的な議論など、決算特別委員会での審査を経て認定しました。

### 将来の借金返済に充てる基金(公債償還基金)の枯渇の危機は回避したものの、依然として厳しい市の財政状況。令和5年度予算の編成に向けて、徹底的に議論しました!

#### 議論の一部をご紹介します

##### 令和3年度決算全般



議員

持続可能な財政運営の確立のためには、引き続き行財政改革を着実に推進するとともに、改革の取組を確実に継承することを、明確に位置付けることが重要だ。

持続可能な財政運営に向け、集中改革期間の最終年度に当たる令和5年度予算で確かな成果が示せるよう全力を挙げる。



市長



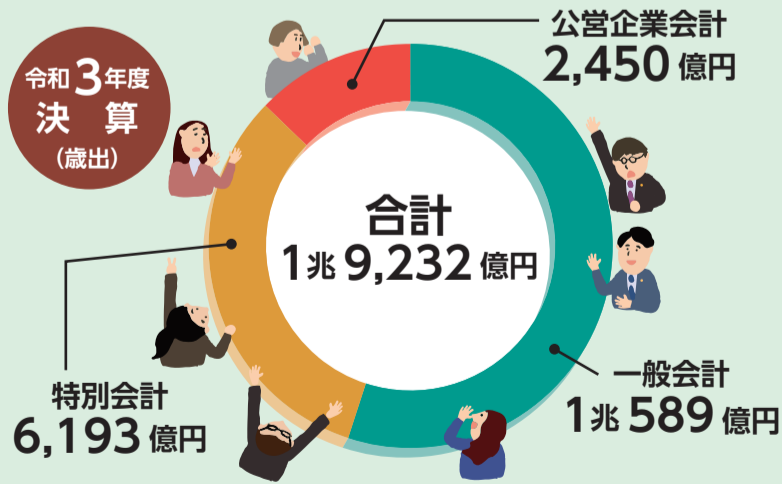
議員

令和3年度決算では、公債償還基金への予定外の返済をしており、実質黒字であったと市民に示すべき。福祉の削減を撤回し、市民生活や中小企業の仕事を持続させていくことが自治体本来の役割だ。

公債償還基金への返済は、将来にわたる市の施策維持のために行ったものである。行財政改革は、希望あふれる京都をつくるためのものであり、市民や事業者のご理解のもと、引き続き取り組む。



市長



行財政改革計画1年目の結果について、活発な議論が交わされた9月市会(決算市会)だったね。

京都市会マスコットキャラクター またぎち



京都市会マスコットキャラクター マタリオン

# 令和3年度決算を認定

#### 財政運営

- 行政のコストを見える化して、市民や事業者の主体的な市政への参画を誘発すべき。
- 公債償還基金の枯渇の危機を回避したが、いまだ厳しい財政状況にあることが市民に十分に伝わっていない。

#### 保健医療

- 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行に備えたワクチン接種の推奨や、発熱者への対応等の強化に向けた取組が重要だ。

#### 都市計画の見直し

- 人口減少や少子高齢化問題にも併せて取り組むべき。
- 若年層や子育て世帯の定住・移住の促進に向けて、的確にニーズをつかみ、効果的な情報提供を行うべき。

#### 商工振興

- 中小・小規模事業者に対する支援や域内経済循環のために、抜本的に予算を増額すべき。

#### 子ども若者育成支援

- 専門性を高め責任の所在を明確にするために、ヤングケアラー対応の専門部署を設置すべき。

#### 交通事業

- 今後の観光客の増加状況を把握しながら、市バス路線の復活など柔軟に対応策を講じるべき。
- あらゆる手段を使って、交通局の窮状を市民に理解してもらうべき。

※その他、常任委員会に付託された議案や議員提出議案についても審議等を行いました。

➡ 詳しい審議結果は4面へ!